

平成 21 年度第 1 回 機械工学教育 FD/IT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日時：平成 21 年 6 月 8 日(月) 午後 5 時 30 分から午後 7 時 30 分まで
- II. 場所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
- III. 出席者：曾我部委員長、青木委員、高野委員、田中委員、角田委員、田辺委員
井端事務局長、森下、恩田
- IV. 検討事項

議 事

1. 新委員の紹介

委員長から、河端委員の後任として金沢工業大学高野則之委員が紹介された。

2. 平成21年度事業計画

事務局から、私立大学情報教育協会平成21年度の事業計画について紹介され、そのなかで情報通信技術活用による教育改善を促進するため、分野別の学習到達目標、コアカリキュラム、到達度の測定方法を取りまとめて公表する計画が、また今年11月までには分野別の固有能力をまとめる予定が述べられた。

3. 機械工学固有の学士力とコアカリキュラム

当委員会では平成20年度に、機械工学固有の学士力文案を以下のようにまとめた。

機械工学学士力文案 081024

- 1) 人間や社会に有益な機械・システムを構想できる。
- 2) 力学系、熱・エネルギー系、材料系、制御技術系、数理・情報技術系等の基礎知識を理解し、CAD/CAE等の技術を活用して、機械・システムを設計できる。
- 3) 設計した機械・システムを製造するために、加工学・生産工学等の基礎知識やCAM等の情報基礎技術を理解することができる。
- 4) 機械・システムの設計・製造および運用・管理の中で、自然との共生、安全性や倫理性等に十分配慮することができる。
- 5) 身の回りの機械・システムに対し、その問題点を指摘したり、改善案を持つことができる。

この5項目に対応するコアカリキュラムについて、各委員の案が紹介され、それをもとに討論の結果、学士力文案は、1)と4)に共通部分がある、1)、5)はまとめた方がよいなどの意見が出され、機械工学固有の学士力を再度、以下の4項目にまとめた。

学士力文案 090608

- 1) 力学系、熱・エネルギー系、材料系、制御技術系、数理・情報技術系等の基礎知識を理解し、CAD/CAE等の技術を活用して、機械・システムを設計できる。
- 2) 設計した機械・システムを製造するために、加工学・生産工学等の基礎知識やCAM等の情報基礎技術を理解することができる。
- 3) 技術者として、自然との共生、安全性や倫理性等に十分配慮することができる。
- 4) 人間や社会に有益な機械・システムを構想するために、身の回りの機械・システムに対し、そ

の問題点を指摘したり、改善案を持つことができる。

4. 今後の予定

今後はこの新しい学士力文案に対応したコアカリキュラムを作成することになり、その1次案は6月末くらいまでに作成して各委員に配信し、それをもとに最終案を検討することとなった。なお、この1次案には一般にわかりやすくするため各項目に、3,4行程度の解説も加えることになった。

次回委員会：8月10日（月） 14:00 - 16:00（予定）

以上